

Weekly Report

山梨中央ロータリークラブ

Rotary International District 2620
Yamanashi Chuo Rotary Club 2017-2018

会長 田中 雅貴 副会長 林 美喜枝
幹事 原田 哲 副幹事 田中 雅承
会計 笹本 哲翁 会報 小池 章治

事務所 〒409-3812 山梨県中央市乙黒158-2
(山梨ビジネスパーク(株)カルク 内)

TEL 055-273-5344 URL <http://yamachuo-rc.net/>
FAX 055-273-8010 E-mail rotary@yamachuo-rc.net

【例会日】 毎週金曜日 12:30~13:30
【例会場】 (株)カルク (055-273-5344)

Rotary 



ロータリー：
変化をもたらす

2017~2018 R.I会長
イアン H.S. ライズリー
第2620地区ガバナー 松村 友吉

2017年 7月 21日 第1774回例会

本日のプログラム

ガバナー補佐クラブ訪問(1)

会長挨拶

「沖縄の黒糖」

会長 田中 雅貴

みなさんこんにちは。沖縄はすでに先月梅雨明けしました。山梨はこれからのようですので、季節の変わり目に風邪などひかないよう注意が必要です。

さて、私の会社はIT企業ですがITのことばかりでは会長挨拶も限界がありますので、弊社の支店がある沖縄の文化についても、挨拶の中でお話ししたいと思います。

今回は沖縄の黒糖についてお話しします。

沖縄ではよく黒糖をお茶請けとして親しまれています。そしてよく、黒糖は太らないといえます。ほんとかどうかは謎です。

ちゃんと黒糖にも定義があります。

沖縄県黒砂糖協同組合・沖縄県黒砂糖工業会というところが認定しています。認定されるには次のことをクリアしなければいけません。

1. 黒糖とは、沖縄県、鹿児島県の離島で主に生産される含みつ糖の代表的なもので、さとうきびの搾り汁をそのまま煮沸濃縮し、

加工しないで冷却して製造したものをいう。

2. 沖縄黒糖とは、組合に所属する4企業1団体の製糖工場(8つの離島工場)で生産される含みつ糖の代表的なもので、さとうきびの搾り汁をそのまま煮沸濃縮し、加工しないで冷却して製造したものをいう。
3. 成分として、糖分の他にカリウム、カルシウム、鉄等多くのミネラル成分を含み、特有の香味がある。

最近健康志向か黒糖需要が高まり、黒糖とは言えないものが出回っているようです。

以下のような注意喚起がありました。

近年、黒糖需要の増大に伴い、粗糖や糖蜜で製造されたものや、さらに輸入糖などを加えて黒糖に似せた商品が出回っております。外見は黒くても風味や成分が異なりますので、お買い求めの際にはご注意ください。

「加工黒糖」とあるものは砂糖やはちみつが添加されていますので、黒糖ではないばかりか太りますので注意してください。

サトウキビ100%で生成され認定された黒糖にはマークが貼られていますので、購入の際は思い出してください。

今日の会長挨拶は以上です。

幹事報告

幹事 原田 哲

1. 本日は田中年度最初の「クラブ協議会」です。卓話の時間を使用して行いますので、宜しくお願い致します。
2. 次週、7月21日は第1回山梨第3分区齋藤ガバナー補佐のクラブ訪問です。万障繰り合わせてご出席を宜しくお願い致します。
3. 7月28日(金)の例会は「納涼親睦夜間例会」となりますので、宜しくお願い致します。時間は午後6時30分より「新寿し」において行います。
4. 例会変更のお知らせ
☆甲斐シティーロータリークラブ☆
7月26日(水)の例会は「納涼例会」の為 時間と会場の変更
点 鐘：午後6時30分
会 場：「BAR アルフィー」
☆甲府東ロータリークラブ☆
7月28日(金)の例会は「納涼家族例会」の為 時間と会場の変更
点 鐘：午後6時30分
会 場：「古名屋ホテル」

前回の例会記録

第1773回 出席報告

会員数	免除	出席者	欠席者	出席率	メイクアップ	前回の修正出席率
11名	0名	8名	3名	73%	2名	100%

届出欠席者 田中 雅貴君 原田 哲君
樋貝 浩久君

届出失念者 なし

出席免除者 なし

メイクアップ 樋貝 浩久君 原田 哲君

ビジター なし

備考 なし

ニコニコ BOX

・なし

★ 職業奉仕月間卓話 ★

『「燃える氷」の赤い炎(5)』

山本 晃司先生

世界初の生産実験に成功した瞬間だったが、現場は静かだった。写真は報道用にインターネット経由で送信したが、「迫力がないから撮り直せ」と指示される始末。

私たちの成果がどう報道されたかは、船上でもBS放送とネットで知ることができた。祝福のメールもたくさん頂いた。特に海外のメタンハイドレート研究者は我が事のように喜んでくれた。

メタンガスの産出は十八日の朝までつづいた。バーナーの炎は夜になれば赤々と明るく、遠くからも温かさを感じた。

この六日間で産出ガスの合計は約十二万立方メートル(速報値)に達した。

しかしエネルギー資源は、安定性・コスト・環境問題といった多方面から価値が判断されるものである。メタンハイドレートはまだ「減圧法」という一つの産出手法が確かめられた段階で、商業生産までにはいくつもハードルを越えなければならない。我々はまだ第一歩を踏み出したにすぎない。今回の試験で得られた多くのデータを分析し、次に何をすべきかを考える大仕事は、我々に与えられた。(終)

★ 2017～2018年度上期地区関係行事 ★

◎7月22日(土)

会員増強・維持セミナー

◎8月27日(日)

社会奉仕セミナー

◎11月11日(土)・12日(日)

地区大会

◎11月20日(月)

財団地域セミナー

次回のプログラム 7月28日(金)

「納涼親睦夜間例会」PM6:30 於・新寿し